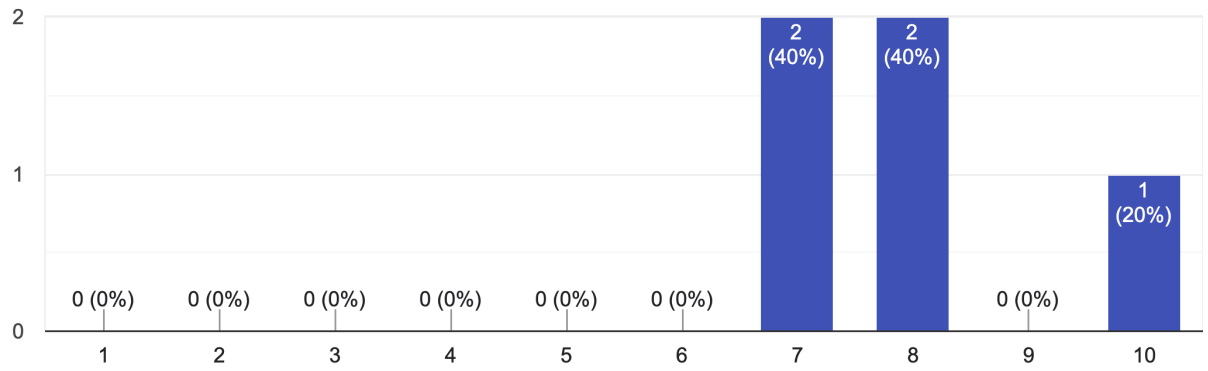


表紙



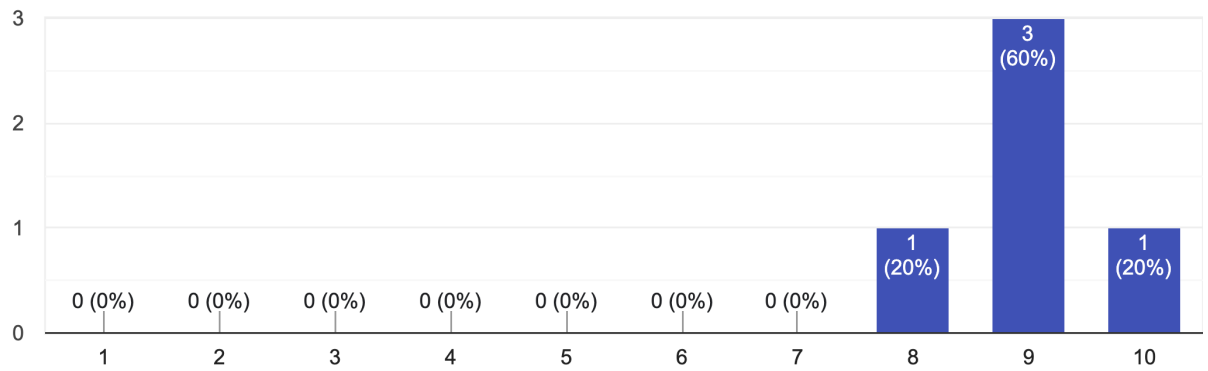
全体評価

5件の回答



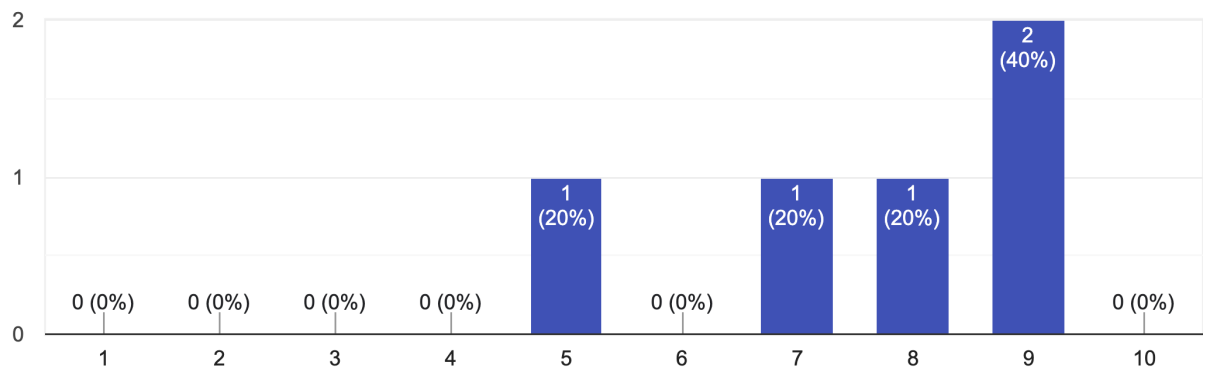
読みやすさ

5件の回答



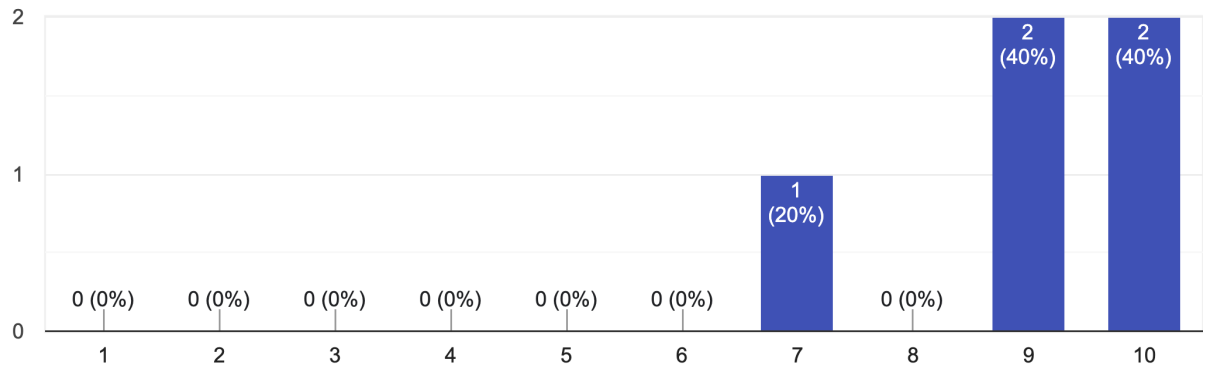
新鮮度

5件の回答



ほっこり度

5件の回答



評価アンケート

メールアドレス *

お名前 *

宣伝、サンプルとして貴方の回答を使用してもいいですか？ *

OK

だめ

その他:

全体を総合しての評価

10段階（1がよくない～10がよい）でお願いします。特に何も感じない、普通の時は5に入れてください。

記述式は特に何もなければ飛ばしていただいて大丈夫です。

全体評価

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

読みやすさ

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>

新鮮度

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

ほっこり度

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>

ここがよかった！好きだった！という点があれば教えてください。

・ときなしさんの設定解説のところ。ある程度ときなしさんの不思議さを書いた後で設定解説段落が入るのが面白かったです。

よくなかった点、批判点、こうしたらもっといいかもという点などを教えてください。

・2行目は「うちの隣の」なしでもいいかも？と思いました。(自分ならそうする、という程度の話ですが)

・若干、ラストへのカタルシスが少し弱いような感じはありました。(「ゆで卵のちょうどいい茹で時間の保持」というのが嘘なのか本当なのか若干分からなかった、というのもあるかも。→本当なのだとなれば、一行でいいので最終段落の一段落前に「人間ってというのは意外とシンプルなもの大切に思うものだよ」とか「大切なのはゆでたまごみたいに**」とか何か関係していそうな言葉を入れておくと繋がりがよくなるかもしれません。)

誤字のご報告はこちらをお願いします。

今回悩んだところについて

今回の話を書くにあたって悩んだ点について、よければご意見を聞かせていただけますと幸いです。

①隣に住んでいるお姉さんが「不老不死」という点が、今回の話のフック（面白いと思ってもらえそうなポイント）かと思っています。

最終的には1文目に持ってきたのですが、はじめの構想ではある程度日常シーンを進めた次（具体的には「ときなしさんのなまえは「ときなし」ではない。」の前）に置くつもりでした。「ときなしさん」が不老不死であることを明かす一文を自分だったらここに置く、こっちがいい、などご意見ありましたらぜひお聞かせください。

フックのために序文にあったほうがいいのかいいと思います。

②最後、「ときなしさん」が自分が長期保存している記憶の内容を教えるシーンについて、はじめは最後の段落だけ時をすっ飛ばし、大学進学のため家を出て行く主人公への選別として、「ときなしさん」が長期保存している記憶の内容を教えるというシーンにする予定でしたが、最後だけ急に時がすっ飛ぶのもな...と思って、受験に向かう日に変えました。どちらがよいか、あるいはもっといいシーンがあったかなど、ご意見ありましたらぜひお聞かせください。

- ・「受験時」のほうが、「戻ってきたら」の台詞が輝く（＝待ってるよ、というメッセージになる）気がするので、今のままでもいいかなと思います。
- ・「大学進学時」でも、主人公の受験が成功したというハッピーエンド的な軽さが出ると思うので、それはそれでよいと思います。少し時が飛んでもそれほど気にならないかも？

このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。

Google フォーム

評価アンケート

メールアドレス *

お名前 *

宣伝、サンプルとして貴方の回答を使用してもいいですか？ *

OK

だめ

その他:

全体を総合しての評価

10段階（1がよくない～10がよい）をお願いします。特に何も感じない、普通の時は5に入れてください。

記述式は特に何もなければ飛ばしていただいて大丈夫です。

全体評価

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

読みやすさ

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

新鮮度

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

ほっこり度

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

ここがよかった！好きだった！という点があれば教えてください。

- ・ときなしさんの別称のバリエーションとして不老さん・ちよさん・生体アーカイブと挙げられていて、いかにもありそうな名前の派生だとリアリティを感じられて良かったです。特にちよ(千代)さん.....！
- ・ときなしさんの設定が素晴らしい。記録が目的なのであれば書物や電子データで事足りるはずだけど、おそらく『語り継がせる』ことに重きが置かれて、技術力が追いついた結果として、不老不死に近い人間に担わせているのだろうと思いました。歴史の『生き証人』を造り上げるという設定、ちょっとゾッとするようですが、ときなしさんのぐうたらなんびりした雰囲気ですら上手く緩和されています。同時に、「じゃあ、このときなしさんは何を記憶し、何を語るのだろう.....」と後の展開に期待を持てるようになっていきます。
- ・【僕の両肩を何か追い払うように力を込めて叩く】→何か追い払うようになって良い表現ですね。僕目線だと心の底にある不安を追い払ってくれようとしているみたいと感じたのかもしれない。
- ・できることと好きなことは違う.....をゆで卵で例えているのは面白いですね。
- ・【本来の「ときなしさん」はこのように非人間的な雰囲気を醸し出しているものなのだろう】がゾワッと来ていいですね。
- ・個人情報のくだりが面白い(笑)
- ・「ときなしさん達をどうやって呼び分けるのだろう？」と疑問を抱いたタイミングで、ちょうどその話題が出てきたので、ぐいぐい引っ張られて先を読みたくなりました。また、ここで隣のときなしさんについて、「何を記憶しているのか」に続いて二つ目の謎が提示されていることになります。作中では明かされませんでしたでしたが、それはそれでよし。
- ・【その足取りは確かだったけれど、背中をほんの少し丸めて、見えないものを背負っているように感じられた】→この一文良い.....。ときなしさん達はみんな膨大な情報を抱えて生きている。それも失われてはいけない情報を。だから非人間的なオーラを帯びていても人間らしく悩むことがある。そういう役割に伴う期待と重圧を表しているような一文でした。
- ・【お姉さんは長生きだけが取り柄なんだ】→高度な技術を記憶していてテレビでも取り上げられた仲間が訪ねてくるほどなのに、全く鼻にかけることもなく、むしろ【私は彼みたいになんか】と謙遜する。只者じゃない。

よくなかった点、批判点、こうしたらもっといいかもという点などを教えてください。

- ・【「ときなしさん」というのは文化・情報保護法第十七章で定められた無形文化財特別長期保持者に認定された人々を示す総称】という書き方だと、全国的にそう呼んでいるはずではないかと思いました。なので【このあたりでは】と後から付け足されると違和感があります。地域によって呼び方が違うのであれば【総称】ではなく【呼称の一つ】とかでしょうか。
- ・【「県外の大学に行くんだ」「まだ受験終わってないから、行けるかどうかわかんないよ」】が、どちらの言葉なのか分かりませんでした。例えば「県外の大学に行くんだね」ならばときなしさんの言葉と分かり、その後の返しは僕になります。
- ・【頭を下げているスーツ姿の男の人とすれ違った】のであれば、僕は横目に通り過ぎているはずなので、顔を合わせて挨拶することにはならないと思います。考えられるパターンは、
 - ① 玄関前を通りかかる前に【お暇の挨拶をしている】ところを目撃、通りかかる時に鉢合わせ
 - ② ときなしさんの家の敷地から出てくるところで鉢合わせ
 かと思います。
- ・写真に特別詳しくはないのですが.....加工したのではなく、経年でセピア色になったのであれば、平成初期に撮ったとは考えにくいです。褪せてセピア色になるなら白黒写真ですかね.....？1980年代にはほとんどの写真はカラーに置き換わっていたと言われていて、平成元年ですら1989年です。【150年以上前の写真】が平成初期に撮った写真なら、作中の時代は2140年あたりという設定かな.....？

誤字のご報告はこちらをお願いします。

・【作って】と【つくって】で表記揺れがありました。

今回悩んだところについて

今回の話を書くにあたって悩んだ点について、よければご意見を聞かせていただけますと幸いです。

①隣に住んでいるお姉さんが「不老不死」という点が、今回の話のフック（面白いと思ってもらえそうなポイント）かと思っています。
最終的には1文目に持ってきたのですが、はじめの構想ではある程度日常シーンを進めた次（具体的には「ときなしさんのなまえは「ときなし」ではない。」の前）に置くつもりでした。「ときなしさん」が不老不死であることを明かす一文を自分だったらここに置く、こっちがいい、などご意見ありましたらぜひお聞かせください。

この質問項目を見る前に本文を読んだのですが、まさしく「ときなしさんのなまえは「ときなし」ではない。」の前にあったら良かったのになぁと思いました.....(笑)
序盤で見たい目は三十代と示されていて、慣れた様子で家に上がり込んでくるちょっと面倒なお姉さんという印象でした。そこへ突然【百年くらい前から住んでいるらしい】と来て「えっ??」となるわけです。驚きが冷めぬまま、次の場面の頭で不老不死だと明かされれば「なるほど、この話の中心はそこなのね」と惹き込まれると思います。

また、現状だと題名→冒頭までの間に【うちの隣】と三度も目にするようになっていてややしつこいので、やはり一文目でない方がいいと思いました。

②最後、「ときなしさん」が自分が長期保存している記憶の内容を教えるシーンについて、はじめは最後の段落だけ時をすっ飛ばし、大学進学のため家を出て行く主人公への選別として、「ときなしさん」が長期保存している記憶の内容を教えるというシーンにする予定でしたが、最後だけ急に時がすっ飛ぶのもな...と思って、受験に向かう日に変えました。どちらがよいか、あるいはもっといいシーンがあったかなど、ご意見ありましたらぜひお聞かせください。

これ完全に自分の中のときなしさん解釈なのですが、ときなしさんの存在理由たる長期保存情報って、日本の存亡に関わるレベルのものじゃないかと思いました。最初の一人だし。もしくは、試験的に「ゆで卵のちょうどいい茹で時間」を長期保存しているのかもしれない、とも。ただ、野田さんが帰った後の【不安げに尋ね】た様子から見るに、あえて明かしていない重大な情報があるんじゃないかと.....。

いずれにせよ、主人公が「ゆで卵のちょうどいい茹で時間」を明かされて嬉しいタイミングって、緊張で固くなっている受験に向かう日の方だと思いました。他人を安心させるときなしさんの人柄が活かされるのは、人生の岐路ではないかと。岡山のときなしさんのときみたいに。父親の確固たるサポートとはまた違う、ときなしさんなりの心の支え方。焼肉も楽しみだけど、いつも食べているゆで卵で出迎えられる温かさが、なによりほっとするんじゃないかな。

なので、現状のタイミングで良いと思います。

時間がすっ飛ぶ件についてですが、あまり気にしなくていいと思います。受験の先に進学なり別の進路なりがあるのは話の流れから見えているので、時間経過に開きがあるとしても、さほど違和感は無いです。どれほど先の話に飛んだのか読者に伝わる書き方になっていれば、時間的開きが大きくても付いていきます。

このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。

Google フォーム

評価アンケート

メールアドレス *

お名前 *

宣伝、サンプルとして貴方の回答を使用してもいいですか？ *

OK

だめ

その他:

全体を総合しての評価

10段階（1がよくない～10がよい）でお願いします。特に何も感じない、普通の時は5に入れてください。

記述式は特に何もなければ飛ばしていただいても大丈夫です。

全体評価

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

読みやすさ

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>

新鮮度

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>

ほっこり度

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>

ここがよかった！好きだった！という点があれば教えてください。

「少年」呼びのところで声を出してしまいました。こんなに自然にこのシチュエーションが出ることもあるんだ...！！「ときなしさん」というタイトルから和風ホラーというか、伝記のようなものをイメージしていたからか、途中のカタカナが並ぶ場面で少し面食らいながらも「こういうのもありだ...！」となりました。

最後のゆで卵のくだりは、すごく...ぐっときました...！！

よくなかった点、批判点、こうしたらもっといいかもという点などを教えてください。

良い点でもあると思うのですが、「ときなしさんがなんなのか」の説明の場面がすごく異質で、読んでいて面白いと思う反面、その場面の世界観だけがあまりにも違いすぎてちょっと手が止まってしまいました。けれどこれはこれでよい！とも思います

誤字のご報告はこちらをお願いします。

今回悩んだところについて

今回の話を書くにあたって悩んだ点について、よければご意見を聞かせていただけますと幸いです。

①隣に住んでいるお姉さんが「不老不死」という点が、今回の話のフック（面白いと思ってもらえそうなポイント）かと思っています。
最終的には1文目に持ってきたのですが、はじめの構想ではある程度日常シーンを進めた次（具体的には「ときなしさんのなまえは「ときなし」ではない。」の前）に置くつもりでした。「ときなしさん」が不老不死であることを明かす一文を自分だったらここに置く、こっちがいい、などご意見ありましたらぜひお聞かせください。

この流れでよいと思います！私だと不老不死など情報開示は早くしてしまいそうですが、この辺りが良いと思います

②最後、「ときなしさん」が自分が長期保存している記憶の内容を教えるシーンについて、はじめは最後の段落だけ時をすっ飛ばし、大学進学のため家を出て行く主人公への選別として、「ときなしさん」が長期保存している記憶の内容を教えるというシーンにする予定でしたが、最後だけ急に時がすっ飛ぶのもな...と思って、受験に向かう日に変えました。どちらがよいか、あるいはもっといいシーンがあったかなど、ご意見ありましたらぜひお聞かせください。

個人的には「大事なものの描写」そして「謎を秘めたままの存在」が両立していて、この流れでよいと思います

このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。

Google フォーム

評価アンケート

メールアドレス *

お名前 *

宣伝、サンプルとして貴方の回答を使用してもいいですか？ *

OK

だめ

その他:

全体を総合しての評価

10段階（1がよくない～10がよい）でお願いします。特に何も感じない、普通の時は5に入れてください。

記述式は特に何もなければ飛ばしていただいて大丈夫です。

全体評価

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

読みやすさ

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>

新鮮度

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>

ほっこり度

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>

ここがよかった！好きだった！という点があれば教えてください。

『うちの隣には不老不死の「ときなしさん」が住んでいる。』と始まって、不思議異形物語かと思ったら急にSFになってドキドキわくわく。

ときなしさんのゆる具合がいいと思います。

個人的スキポイント

『そういうことだ——そういうことかな？』

『情報の大事さを知っている「ときなしさん」のはずなのに、個人情報をそんな簡単に漏らしていいのだろうか。』

『ヨリトくんのことを、とてもいい子だと話していたよ』

——前言撤回。この個人情報は、漏らしていいものだ。』

よくなかった点、批判点、こうしたらもっといいかもという点などを教えてください。

ラストがふわっと終わっていて、ちゃんと読めてるかな？と思いました。

『「ゆで卵のちょうどいい茹で時間だよ」』

は、ときなしさんの冗談かなと思いました。それに対する

『——ああ。

——それはとても、大事なことだ。

人類にとって、すごく大事な、知識だ。』

が主人公の反応が大袈裟すぎて何か読み落としてる？と思いました。

誤字のご報告はこちらをお願いします。

今回悩んだところについて

今回の話を書くにあたって悩んだ点について、よければご意見を聞かせていただけますと幸いです。

①隣に住んでいるお姉さんが「不老不死」という点が、今回の話のフック（面白いと思ってもらえそうなポイント）かと思っています。

最終的には1文目に持ってきたのですが、はじめの構想ではある程度日常シーンを進めた次（具体的には「ときなしさんのなまえは「ときなし」ではない。」の前）に置くつもりでした。「ときなしさん」が不老不死であることを明かす一文を自分だったらここに置く、こっちがいい、などご意見ありましたらぜひお聞かせください。

最初にときなさんが不老不死と出てきて、この人だけ特別なのか？現代に潜む不思議生物の話か？と思ったら、政府？主導のSFだったので、意外というか、「そっちな！」という面白さがありました。

②最後、「ときなしさん」が自分が長期保存している記憶の内容を教えるシーンについて、はじめは最後の段落だけ時をすっ飛ばし、大学進学のため家を出て行く主人公への選別として、「ときなしさん」が長期保存している記憶の内容を教えるというシーンにする予定でしたが、最後だけ急に時がすっ飛ぶのもな...と思って、受験に向かう日に変えました。どちらがよいか、あるいはもっといいシーンがあったかなど、ご意見ありましたらぜひお聞かせください。

比較が難しいですが、大学進学前に飛んでも不自然ではないと思います。
文章読んでないので断言はできませんが。

ところで、

ときなしさん（隣のお姉さん）が保持しているのは本当にゆで卵の茹で時間なのですか？
政府主導の国家プロジェクトで最初のときなしさんがゆで卵の茹で時間なのが疑問に思っていました。個人的にですが、きっと最先端の技術だし、どの段階で政府から生活費が出るかが決まったのかわかりませんが、率直に考えるとプロジェクト始動段階で生活費まで決まっていると考えるのが妥当です。最初の一人は実験としてゆで卵の茹で時間だったのか？ゆで卵の茹で時間は本当に生体アーカイブしないといけないものなのかそこの方が引っかかってしまいました。

このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。

Google フォーム

評価アンケート

メールアドレス *

お名前 *

宣伝、サンプルとして貴方の回答を使用してもいいですか？ *

OK

だめ

その他:

全体を総合しての評価

10段階（1がよくない～10がよい）でお願いします。特に何も感じない、普通の時は5に入れてください。

記述式は特に何もなければ飛ばしていただいて大丈夫です。

全体評価

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

読みやすさ

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>

新鮮度

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

ほっこり度

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>

ここがよかった！好きだった！という点があれば教えてください。

SF（すこしふしぎ）なストーリーで、個人的にとっても好きです。

描写も丁寧で、状況の背景を類推するのに必要な情報も過不足なく、入り込んで読み進むことができました。

いわゆる「少年って呼んでくるタイプのお姉さん」が物語のベースにあるかと思いますが、上手く料理できていると感じます。

また、「不老不死の人が実際に居たらどう感じるんだろう」の表現の仕方も丁寧だと思いました。少しのんびりしているけど、そののんびりがぐうたらな雰囲気なのか芯のある雰囲気なのかは人それぞれ、というのが短い文章中でわかりやすく説明されており、全体に漂うライトノベル的な要素とも合致していて良かったです。

よくなかった点、批判点、こうしたらもっといいかもという点などを教えてください。

「新鮮度」という項目があったので、題材の新鮮度を狙って書いたお話なのかな？と思いましたが、題材としてはそこまで新鮮味はないと思います。具体例を挙げると、漫画作品ですが「白暮のクロニクル」など、「国に認知されており、通称で呼ばれる不老不死者が存在する」という設定自体はSF作品で比較的良好に見かけるように思います。「少年って呼んでくるタイプのお姉さん」をこすっているあたりからも、もし今後も物語が続くのであれば、どちらかというミームや伝承の分解・再構築や日常に潜む非日常性をメインに据えて想定した方がストーリーを進行しやすそうだなと思いました。

誤字のご報告はこちらをお願いします。

今回悩んだところについて

今回の話を書くにあたって悩んだ点について、よければご意見を聞かせていただけますと幸いです。

①隣に住んでいるお姉さんが「不老不死」という点が、今回の話のフック（面白いと思ってもらえそうなポイント）かと思っています。

最終的には1文目に持ってきたのですが、はじめの構想ではある程度日常シーンを進めた次（具体的には「ときなしさんのなまえは「ときなし」ではない。」の前）に置くつもりでした。「ときなしさん」が不老不死であることを明かす一文を自分だったらここに置く、こっちがいい、などご意見ありましたらぜひお聞かせください。

フックとしては適切だと思います。こういう設定は比較的序盤に明かされるべきだと思いますし、もしこの物語が文庫本なら、帯に「不老不死」というメッセージが載るのではないのでしょうか。

②最後、「ときなしさん」が自分が長期保存している記憶の内容を教えるシーンについて、はじめは最後の段落だけ時をすっ飛ばし、大学進学のため家を出て行く主人公への選別として、「ときなしさん」が長期保存している記憶の内容を教えるというシーンにする予定でしたが、最後だけ急に時がすっ飛ぶのもな...と思って、受験に向かう日に変えました。どちらがよいか、あるいはもっといいシーンがあったかなど、ご意見ありましたらぜひお聞かせください。

個人的な嗜好としては、最後だけ時が飛んでも問題ないと感じます。ただ、今のストーリー構造も温かみがあって好きです。

ただ、若干設問の意図とは異なる部分になりますが、読んでいてこのときなしさんの長期保存している記憶に関する言葉が真実なのか、それとも冗談を言っているのかがわかりづらいつ感じました。餞別としてかける言葉になると、シーンのなおさらどちらかわかりづらいつ感じますので、今のままでも良いと思います。

このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。

Google フォーム